

4-(1)-⑬ 産官学連携

ものづくり総合研究センター/プロジェクトセンター/ウルトラファクトリー

ものづくり総合研究センター受託関連(プロジェクト含む)

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与 (人数)	単位 認定
1	手しごと職人のまち東山再発見プロジェクト	2015.05-2016.03	東山区役所	手わざを活かした商品アイデアを募集する「暮らしものづくりコンテスト」を実施(7-9月)、弾丸ツアー・職人トークショー・小中学校レクチャーを企画運営し、173点の応募に繋がった。審査を経て完成した商品を東山ブランドとして紹介する展示イベント「東山職人の冒険」(3月/326名)を開催、コンテスト授賞式も行った。陶器職人との共催イベント「手しごと屋」(11月/279名)を行い活動の普及に務めた。職人調査は新規41件、職人同士の情報共有や一般の方々にも情報を提供するウェブサイトには27件の登録となった。事業費用は受託金額と別に学長予算499,587円を執行	12名	有
2	けいはんな見世物小屋プロジェクト	2015.08	植彌加藤造園株式会社	2年目を向かえた京造見世物小屋(おぼけ屋敷)。開催場所は昨年と同じ京都府精華町にあるけいはんな記念公園。今年度は20名の学生が参加、企画立案から制作、広報、そして設営と運営を行った。梅雨の天候に左右されながら12日間の学外興行活動を終えた。	20名	有
3	栗田大燈呂プロジェクト	2015.05-10	栗田大燈呂実行委員会	2008年に京都東山にある栗田神社最大の祭礼行事「夜渡り神事」を180年ぶりに復活させ、今期で8年目。神社や周辺地域の歴史・伝承等を調査し、京都の歴史・芸術・文化・風土等を掘り下げ「大燈呂」のデザインをグループで提案(6月)制作(7-10月)に取り組み、昨年度制作した5基とあわせて計10基の祭礼巡行を実施した。本年度も栗田地域の氏子を中心に、神社境内にて大燈呂制作のワークショップを行い地域との連携も深めた。新作「大燈呂」5基は東山花灯路にも展示された。	28名	有
4	キョウノマツリゴト	2015.05-2016.02	左京区役所	網羅的な情報が存在しない神社の祭礼(マツリゴト)を調査し、古くから続く京都の文化の再発信を目指すプロジェクト。今年度は左京区役所の依頼に基づく冊子制作活動を中心に展開。地域力推進室の職員と協働し、取材対象の計33の祭礼についてほぼすべてを学生が実際に取材し、原稿制作から冊子デザインに至るまでを一貫して行った。完成した『左京伝統行事ガイド おつぎのまつり』は区内各施設を中心に配布されている。	13名	有
5		2015.07-08	綿屋町町内会	中京区綿屋町内会の依頼に基づき、20年以上途絶えていた「地藏盆」を復活するため、装飾デザインなどに協力。2年目の今回は町内の蔵に保管されたままの「切り灯籠」の改造を行い展示。地藏盆も開催し、数珠回しや紙芝居などを行い2年連続で新聞取材を受けた。		
6	京の七タ・堀川地域活性化2015	2015.05-08	堀川と堀川通を美しくする会	京都市からの依頼により始まった2年目の企画。今年も堀川会場をメインとし堀川周辺地域の活性化と地元主体のイベントにするべく今回は近隣小学校5校を訪問。本学学生が児童に向けたワークショップを企画、指導し作品を制作した。児童の作品は開催期間中、堀川河床に京造ねぶたと共に展示された。	35名	有
7	フコクアトリウム空間プロデュース	2015.05-12	三菱地所プロパティマネジメント(株)	大阪駅前にある大阪富国生命ビルの地下1階アトリウム「フコク生命の森」の空間演出プロジェクト。今年度はリアルワークPJとして実施し、夏は幅約9m×高さ約3mの巨大壁画の公開制作とワークショップ。冬は一带のスノーマンフェスティバルに合わせた立体造形による空間演出を行った。前回同様ビルの利用者や地下街の通行人から多くの注目を集め、好評を得た。また平面・立体の両方を体験できる学習効果の高いプログラムとなった。	9名	有
8	オペーク・ルクア ウィンドウディスプレイ	2015.07-12	株式会社ワールド	(株)ワールドが新規に出店した大阪駅ルクア内「オペーク」のためのウィンドウディスプレイのデザインの提案と制作を実施。ウィンドウ内だけでなく店舗にも同一イメージの制作物を展開した。	21名	有
9	京都ハンナリーズPRプロジェクト	2015.07-12	スポーツコミュニケーション KYOTO株式会社	プロバスケットボールチーム「京都ハンナリーズ」の運営会社からの依頼に基づき、チームの認知度向上と来場者増に向けたPR活動を行うプロジェクトを実施。今年度はデザインワークを中心に、ホームゲームで配布されるゲームプログラムの制作や会場内一部の装飾を担った。観客へのアンケート等も綿密に行い観客の意識把握にも貢献した。	14名	有
10	しまね新商品開発2015	2015.10-2016.09	公益財団法人しまね産業振興財団	しまね産業振興財団より委託した「しまね地域資源活用継承事業」は今年で6年目を迎えた。今回は松江市の工芸作家と共に2016年9月に東京で開催される「ギフトショー」に出展することを目的とした新商品の提案、開発を現地研修を重ねて共同制作として取り組んだ。	12名	有
11	ホスピタルアート・プロジェクト(HAPii+)	2015.07-2016.03	NPO法人アーツプロジェクト	京都府立医科大学附属病院から、超音波検査エリアにある待合室2部屋の環境改善の依頼を受けた。今回は「視覚からの栄養」をテーマに「京野菜」をモチーフにした作品を展開。各部屋の照明や雰囲気に合わせて、一室はフレスコ画、もう一室はステンシル画というように部屋に合わせて技法を変えた。これらの技法は過去にも取り組んだことがあるが、より高い完成度を求め、学生自らが技法研究に取り組み作品性の高い成果となった。それに加えて、待ち時間を解消するために京野菜の歴史と栄養を紹介する冊子も設置した。	7名	有
12	伏見+Art2016	2015.10-2016.03	(有)伏見プランニングセンター	伏見桃山・中書島エリアにある7商店街の合同アートフェスティバル。4年目となる2015年度は7商店街が合同で「ええやん！パレード2016」を実施することとなり、そのメインとなる移動型ねぶた「輸入道」と、7商店街の連携を表わすオブジェ「伏見の太陽」を制作。前者の制作にはクライアントであるF7プロジェクトメンバーや地域住民を巻き込み、また京阪中書島駅前に設置した後者にはプロジェクションマッピングを行った。好評を得て、京都学生祭典などから継続イベントのオファーを受けている。	25名	有

4-(1)-㊫ 産官学連携

13	京都信用金庫H28年度卓上カレンダー	2015.04-2015.10	京都信用金庫	京都信用金庫が毎年製作する年賀用卓上カレンダーの挿画制作。美術工芸学科「和紙孔版画クラブ」の学生が12か月＋表紙の計13枚の作品を提供。温かみのある色彩で、季節に沿った画題を提案した。クライアントは過去の他大学との連携では教員のみとやりとりを行っていたそうだが、本学では連絡・相談も含め学生が前面に出て活動した点も連携事業として高い評価を得た。関連して本店ロビーでの原画展やポスター制作も行った。	12名	無
14	苧麻(からむし)繊維の日本画和紙開発	2015.03-2015.09	富士製紙企業組合	委託元である富士製紙企業組合が、四国産業・技術振興センターの助成制度を利用して、苧麻(からむし)繊維の日本画用和紙の開発を本学と共同で実施。	1名	無
15	コフロック窒素ガス発生装置CM制作	2015.04-2015.08	コフロック株式会社	昨年度プロダクトデザイン学科・平岡先生の監修のもとデザインされた超小型窒素ガス発生装置「Mini-CUBE」について、続けてウェブCM用映像の製作を受けて実施。前年度同様、クライアントとの打合せを重視し複数回のミーティング全てに学生も参加。細かな要望にも対応し約1分30秒のCM映像を完成させた。同社ホームページや展示会等で活用される予定。	2名	無
16	名古屋大学減災マンガ制作	2015.04-2016.02	名古屋大学減災連携研究センター	名古屋大学減災連携研究センターの依頼に基づき、地震発生から直後にとるべき行動を分かりやすく伝えるマンガ冊子を製作。マンガ学科学生3名が神戸の「ひとと防災未来センター」などを取材し、パパ編・ママ編の2種類、さらに家庭と職場の2パターンのストーリーを製作した。同センターにて来館者を中心に配布される。	3名	無
17	花園高校学校紹介スライドショー制作	2015.04-06	学校法人花園学園	学校法人花園学園・花園高校の受験希望者向け説明会時に使用するスライドショーを製作。日常風景の写真を多用し、コースごとの特徴を印象付ける作品を製作した。	0名	無
18	長栄マンションリフォーム(10期・11期)	2015.04-06	株式会社 長栄	2011年度からスタートした、学生による賃貸物件のリフォーム提案。前後期の2期に分かれて提案を行う。優秀なものは、実際に賃貸物件としている。2014年度よりStamp！（Students try apartment making project）と名づけ、物件デザインから派生した商品も生まれている。	20名	無
19	日本モンキーセンター施設改修	2015.04-2016.03	公益財団法人日本モンキーセンター	愛知県犬山市の日本モンキーセンターの無料休憩所の改修を行う協働事業。今年度はニーズ把握を中心に活動し、計3回の現地見学・フィールドワークを実施。さらに老朽化の目立つ内装への応急処置としてペンキ塗りを実施。それを同センター職員との共同ワークショップとして行い、コミュニケーションを深めた。次年度も継続予定。	9名	無
20	大阪ガスディスプレイ提案	2015.04-2016.03	大阪ガス(株)	病院や学校などでの大型施設に対して、大阪ガスのエネルギー計測・制御システム「もっとSave」を基盤とした省エネ促進活動の提案と、ヴィジュアルデータの作成。医療法人三幸会様をモデルとして提案を行った。	6名	無
21	JR京都駅KidsDayワークショップ	2015.04-05	有限会社ティーツーアール	ゴールデンウィーク中にJR京都駅を利用する家族・子ども向けのワークショップイベントの企画と実施。京都鉄道博物館・SLスチーム号客車デザインプロジェクトから有志メンバーが参加し、さらにボランティア学生を巻き込んで鉄道に関連するクイズやプラ板作りのワークショップなど複数のプログラムを2日間にわたり展開。好評を得た。	18名	無
22	大塚国際美術館衣装制作	2015.04-08	大塚国際美術館	同美術館で開催された美びび フェスティバル「ベル・エポック〜ルノワール、ゴッホ、ロートレックたちが集ったパリ〜」での貸し出し用の衣装制作。ベルエポック時代の衣装7着を政策。	6名	無
23	宇治百鬼夜行(宇治川歴史夜喃)	2015.06-08	(株)地域歴史活性化研究所	宇治川花火大会の中止に伴う代替行事として、宇治橋一帯での百鬼夜行をテーマとしたイベントを企画・実施した。	6名	無
24	海の京都 PV製作	2015.04-2016.03	株式会社 響映	ムック本「海の京都」発刊に伴うPR用のPVを制作。卒業生を中心としたスタッフにより、撮影から編集までを行った。著名人が京都の海沿いの町を訪ね、魅力を発信していくというスタイル。発刊後、発表イベントにもPAとして参加。	1名 (卒業生7名)	無
25	山本能楽堂資料アーカイヴ	2015.07-2016.03	公益財団法人山本能楽堂	これまで未整理非公開であった山本能楽堂で所蔵する資料のアーカイブと展示公開を実した。図書、雑誌・新聞、映像・録音資料から、番組表、謡本、写真、書簡、書画等の専門的な資料に至るまで分類整理を行い、閲覧、保存のためにケースを選定購入し、製本や修復を行い公開に備えた。10/31.11/1に船場活性化事業とコラボし『山本能楽堂の創設・再建時の資料初展示』、3/12.13には『1957年パリ世界演劇祭渡欧能楽団資料』を企画し貴重資料を展示し新聞でも取り上げられた。3/28に約2200点の目録データを納品した。	17名	無
26	日通旅行芸大生向けパンフデザイン	2015.07-11	日通旅行株式会社大阪支店	芸大生を対象としたヨーロッパ3か国を巡るツアーのパンフレットデザイン。芸大生への訴求を意識して複数案を提示し、額縁をモチーフにしたデザインが採用され、製作を行った。	1名	無
27	高浜町薬草染め研究	2015.09-2016.03	いきいきタウン高浜	高浜町の地元で採取できる薬草を使った染めものの研究。大学院生の研究テーマとして3年計画での取り組みとなる1年目。	3名	無
28	三原・山脇邸襖絵制作	2015.07-11	一般社団法人三原観光協会	再生活動の続く三原町の山脇邸の襖絵の制作を行った。3名の学生と1名の卒業生により、それぞれ異なった作風の襖絵となり、お披露目の際には、現地で日本画体験のワークショップを実施し好評を得た。	3名 (修了生1名)	無
29	バプテスト眼科クリニック病棟ロビー壁画	2015.10-2016.03	バプテスト眼科山崎クリニック	バプテスト眼科山崎クリニックの入院棟壁面3m強に、絵を飾りたいという依頼に基づき実施。2年次「造形表現Ⅳ」で行った課題、コロジオン版画を病院長山崎氏と看護師長岡田氏にそれぞれ1点ずつ選出していただき、2名の作品2点を額装して該当壁面に展示を行った。受託金内訳は、額装・展示実費と、学生への賞金@5,000円×2名。16年度以降こども芸術学科で継続予定。	2名	無

4-(1)-⑬ 産官学連携

30	河原町グリーン商店街・街灯アート製作	2015.11-2016.3	河原町グリーン商店街振興組合	四条から五条にかけて約140店舗が軒を連ねる河原町グリーン商店街の街灯(グリーンアートプロムナード行灯)75本分、計150枚の作品を制作し、展示を12-3月に行った。見過ごしてしまう風景を切り取り、接写して風景画として見立てた写真を「近景画」とし、新たなまちの見方を提案し、魅力を発見することをテーマとした。京都新聞に掲載されたことから話題をよび、「街灯下の珍妙アート」として週刊新潮でも取り上げられた。	2名	無
31	光華女子学園・親鸞聖人童子像制作	2015.08-2016.03	学校法人光華女子学園	教育連携を行っている同学園から附属小学校に設置する宗祖・親鸞上人の童子像の依頼を受けて製作。一般的には合掌した穏やかな像が多い中で、今回は健やかで元気、かつ大きな包容力を表わす両手を広げた姿を提案。原型を学生が製作した。4月に除幕、法要を行い終了している。	3名	無
32	H27年度松江武者行列	2015.04-2016.03	松江武者行列実行委員会	島根県松江市と連携して取り組んで今年で9回目となった。松江開府400年祭の一環で2005年まで松江祭藝行列と同日の秋のイベントとして開催していた松江武者行列は「松江開府400年祭」が開始された2007年より本学がイベントの総合プロデュースを行った。今年から地元主体となり、2007年から行ってきた事業を引き継いだ。これによって本学の役割は終了した。	0名	
33	H27年度松江武者行列 ワークショップ	2015.09	松江武者行列実行委員会		0名	無
34	アルトテック	2015.04-2016.03	—	美術工芸学科の学生、卒業生、教員の作品リースと販売。リースの顧客は増えておらず、購入の顧客、コミッションワーク依頼の顧客は毎年増加。卒業展覧会での売り上げは1,246,890円。2016年度は4月時点で1,400,000円の売り上げ。	作業アシスタント2-6名	無
					295名	

4-(1)-㊼ 産官学連携

プロジェクトセンター企画

No	受託研究名	期間	助成・協力機関		学生関与(人数)	単位認定
1	まか通Ⅸ -近代産業遺産アート再生プロジェクト	2015.4-2016.3	—	東山区に眠る地域資源をアートで再生するプロジェクト。陶器人形展示、地獄絵解きイベント、鍾馗祭といった毎年行う恒例イベントの他にも、守り神について考える座談会、和歌を取り上げたイベントなど、学生が考案した企画も行った。また地域資源を再生するだけでなく「しごと」として地域に還元する活動にも取り組んだ。鍾馗という東山区で信仰されていた神様をモチーフにしたグッズをデザイン、11月の鍾馗祭で販売、地域で使われなくなった陶器をアクセサリー制作に利用するワークショップなど『仕事のモデル』を作ることに成功した。	23名	有
2	びわ湖ホール「俵簾太」サポートプロジェクト	2015.07-2016.02	公益財団法人びわ湖ホール	2014年度に結んだ教育連携協定に基づく同ホールとの連携事業をリアルワークプロジェクト化して実施。舞台芸術学科のみならず全学科の学生に同ホールの見学会参加を呼びかけ、さらに2月の「びわ湖メイト」向け特別公演の企画・製作を協働で行った。ストーリーや演出の提案、大道具・小道具の制作、さらに出演など様々な場面に学生が関与し、観客である子どもたちに舞台芸術の魅力を伝えることに貢献した。	16名	有
3	東山花灯路2015	2016.01-03	京都・花灯路推進協議会	2003年度より開催されている京都の春先に行われるイベント。歴史的な文化遺産や素晴らしい景観・街並みを「灯り」と「花」で演出し、京都の新たな夜の風物詩として定着させることを目的に実施。今回もプロジェクトセンター企画として単位認定可能なプロジェクトとして活動を行った。	15名	有
4	学園祭お化け屋敷プロジェクト2015	2015.05-09	—	プロジェクトセンターが関わって今年で3年目。例年通りフィールドワークを行い、チームごとにプランを発表。ベースとなるストーリーからの企画立案、そして制作運営をメンバー全員で行った。見世物小屋学園祭2015 2015/9/19、9/20(2日間) 売り上げ:571,700円、入場者数:1314名	36名	有
5	アートフェスタin大山崎町2015	2015.05-08	—	9年目となるこのプロジェクトでは「大山崎町のことをもっと好きになる」をコンセプトに、離宮八幡宮でのライトアップ&ライブ、展示、こども向けワークショップを実施。地域住民が製作した映画「家路」に関連したイベントを行ったり、町内の飲食店や工芸作家による「マーケット」を初めて実施するなど、10周年に向けてさらに地域と一体となって行うアートフェスタを実現することができた。	19名	有
6	真珠かがやきプロジェクト2015	2015.04-12	有限会社カムデン	真珠の価値を若い世代に伝えることを目的とした本プロジェクトも2年目を迎え、今年度は「ミス・パール」ブランドを学内外へ広く普及することに主眼を置き、7月の祇園祭ワークショップ、8月には日本有数の真珠の産地である愛媛県宇和島市での養殖現場見学、9月の大瓜生山祭では真珠の似合う学生コンテストの実施等を行った。また、後期には約20年ぶりに復活をする琵琶パールを用いた商品を提案し、12月に京都高島屋での琵琶パールを含む学生デザインの作品の販売を行った。その結果、売り上げは目標を大幅に越え、また、NHK等の大手メディアからの取材もうけ、大々的に外部へブランドを発信することに成功した。	13名	有
7	補助犬PRプロジェクト2015	2015.04-12	公益財団法人関西盲導犬協会	2013年度の「盲導犬PRプロジェクト」の続編として、視覚障害者と盲導犬の社会的認知にアート・デザインで貢献することを目的とした活動を行った。学内での意識向上を目的としたワークショップを連続で実施するイベント「Peep from the Dark」を12月に開催し、暗がりの中でのキャンドルライト作り作品鑑賞、トークイベントなどを行ってのべ約150名の参加を得た。本イベントを契機として、15年度はプロダクトデザイン学科の授業内で盲導犬ユーザーのためのプロダクト研究が行われる予定。	5名	有
8	造形大イルミネーション2015	2015.07-2016.01	—	本学人間館の柱を利用したイルミネーション装飾とピロティー部にLEDライトを使用したクリスマスイルミネーションを実施。10年目となる今年は、和風のクリスマスをテーマに琳派をモチーフとし、風神雷神、白象、盆栽ソリーを発泡やねぶたの手法を用いて制作した。点灯初日の11月30日には点灯式を行い約200名の来場者で賑わった。事前にDMを配布し北白川の地域住民の方にも参加いただけた。12月18日には蒼山会役員へのプレゼンテーションを行い、制作意図や過程を伝える機会となった。12月25日まで点灯運営した。	14名	有
9	冬生祭イベントプロデュース2015	2015.11-12	—	「アートな冬を楽しもう！」をテーマに「冬生祭」という学園祭を開催した。同時期にピロティで展示していた、造形大イルミネーションと繋がりのある催しで、今回で2年目となった。メインとなるアートマーケット、フリーマーケット以外にも、駄菓子掴み取り、スノードームワークショップ、わたあめ販売、ちんどん屋によるオープニングショーも展開。12月18日、19日合わせて600名近くの来場者があった。	9名	有
10	D&DEPARTMENT II期	2015.04-2016.03	—	京都における「ロングライフデザイン」は何かをテーマとしたD&Department KYOTO by 京都造形芸術大学を舞台とする活動。Ⅱ期生メンバーは前期活動として商品リサーチを中心に行い、後期はそのリサーチした商品をテーマにSHOP店舗内にあるギャラリーの展示を実施。また、それと平行して後期は学生個々が自ら企画した食堂の京都定食の提案や、お茶のワークショップ、新たな企画展等の実施や週末はメンバーが店頭に立ちお客様と接するなど、SHOPや食堂を活用しながら京都におけるロングライフデザインについて総合的なプロジェクトを実施した。	20名	有
					170名	

4-(1)-⑬ 産官学連携

ウルトラファクトリー企画

No	受託研究名	期間	委託機関		学生関与(人数)	単位認定
1	ULTRA×Kawaii PROJECT	2015.05-10	ヤノベケンジ (京都府)	”原宿kawaii文化”の第一人者である増田セバスチャンとヤノベケンジによる、初のコラボレーション作品制作に参加するプロジェクト。琳派400年を記念して、京都府立植物園で開催された展覧会「PANTHEON―神々の饗宴―」で発表された巨大彫刻《雷神―黒い太陽》、《フローラ》、《風神の塔》の制作、設営に携わったほか、未来の植物を表現した増田の新作《New Generation Plant》は、プロジェクト参加学生を時代を担っていく世代と捉え、学生と増田の協働によって制作された。また、作品の端材などをもとに「ULTRA kawaiiグッズ」を学生がデザイン、制作して学園祭で販売し、完売するグッズもあった。	16名	有
2	高橋匡太 ひかりのプロジェクト	2015.05-10	本学自主企画	光をもちいてアーティスト高橋匡太と出来事を起こしていくプロジェクト。増田セバスチャン×ヤノベケンジ×高橋匡太のコラボレーションによる琳派400年記念展「PANTHEON―神々の饗宴―」において、温室や彫刻作品のライトアップや、くすのき並木の照明、《ひかりの実》を用いて夜景を出現させるなど「夜の植物園」の演出に関わった。また、ライトアップ期間中に学生の企画、運営による子供向けのイベント、「入れる木―ふしぎな木の世界をちょっと覗いてみよう―」を開催。さまざまな樹木の様相を感じてもらう体験型のイベントは子供のみならず大人にも盛況で、学生の学びも大きかった。	9名	有
3	宮永愛子re:birthプロジェクト	2015.05-11	本学自主企画	ナフタリンを素材に時を視覚化した彫刻作品で知られる、美術作家・宮永愛子の作品制作に携わるプロジェクト。プロジェクト期間中、宮永が子供を授かったこともあり、作品の実制作ではなく、ミーティングを中心とした活動となった。水戸芸術館開館25周年記念「カフェ・イン・水戸R」(2015年8～9月)への出品作品の構想から展示計画にいたるまで、作家としての考えを語りあいながら、お腹に子どもを抱えた特別な時期に感じていること、考えたことについても共有し、参加学生は宮永の作品世界に迫った。	3名	無
4	やなぎみわ演劇プロジェクト	2015.05-2016.03	本学自主企画	美術作家・やなぎみわによる演劇公演に関わるプロジェクト。本年は特に2015年7月18日、19日に春秋座で公演された北米5都市で上演の演劇作品「ゼロ・アワー」の凱旋公演に携わった。参加学生は衣装や舞台美術制作、メーキャップ、また演者として、それぞれの専門分野を生かしてチームを編成し、稽古から本番終了まで公演全般に関わった。また、「ステージトレーラープロジェクト」では、「PARASOPHIA:京都国際芸術祭」や大阪での「Open Storage 2015―見せる収蔵庫―」といった展示機会に向けて、トレーラーの内装制作、イベントの運営補助にも携わった。	14名	有
5	ULTRA SANDWICH PROJECT	2015.05-2016.03	本学自主企画	名和晃平が主宰するクリエイティブブラットホームSANDWICHで進行する、複数のプロジェクトに参画するプロジェクト。名和とダミアン・ジャレとのダンスパフォーマンス「Vessel」では、振付家のジャレ、出演した森山未來らとともにワークショップを行うなど、演出の構想段階から関わり、人を形どったオブジェを配した舞台美術なども作りあげた。また、名和と野田秀樹による、オリンピックに向けた文化発信プロジェクト「東京キャラバン」では、駒沢オリンピック公園での3日間のイベントに向けて、ステージ美術をリサーチ、発案し、学生の企画が実際に制作、展示された。	17名	有
6	Japan Handmade	2015.05-2016.03	本学自主企画	西陣織の伝統と技術を引き継ぐ創業約300年の京都の老舗、株式会社細尾が所蔵する江戸時代からの手描きの帯の図案約2万点をデジタルアーカイブ化し、それをリソースに、プロダクトなど新たな展開を試みるプロジェクト。2年目となる2015年度は、「Loft & Fab Award 2015」に応募し、図案をベースにデジタルツールを使用した雑貨の企画を試みたほか、図案を使った動物園のグッズの考案や、図案をペインティングにするなど別のメディアを使ってどう展開できるかそれぞれの視点で提案を行った。	5名	有
7	design studio ZZZ	2015.05-2016.03	本学自主企画	ジャンルを超えて多様なデザインワークを行うディレクター2人指導する実践的なデザインプロジェクト。リサーチや実験を行いながら、空間、グラフィック、プロダクトなど分野領域を横断してデザインの実践を行う。本年は、地域活性誌「亀岡誌」作成のためのリサーチから企画、デザインまでを行ったほか、ULTRA AWARD展の会場サイン、ウェブページ、カタログなどのビジュアルイメージ全般、「THE ULTRA」のデザインなどを行った。	6名	有
8	BYEDIT	2015.05-2016.03	本学自主企画	毎週企画編集会議を行い、インタビューやワークショップの実施、記事の企画、取材、執筆などを行う編集プロジェクト。前半は「タンサンアンドカンパニー」の朝戸―聖氏を招き、アナログゲームをつくるワークショップと、カードゲームを開発し、学生を招いて、テストプレイなども行った。後半はULTRA AWARDのカタログ、「THE ULTRA」の編集作業を担当した。	7名	有
9	ULTRA AWARD 2015	2015.04-2016.03	本学自主企画	6回目となったウルトラアワードは、東京都現代美術館チーフキュレーターである長谷川祐子氏を、キュレーター、制作指導として招き、ギャラリー・オーブで開催した成果展は、学内、審査員から高評価を得ることができた。長谷川氏キュレーションの広報効果は高く、11日間で来場者1599名と同ギャラリーの1日平均来場者(約100名)を上回る結果となった。来場者には美術館学芸員やギャラリー、アート関係者なども見られ、学外からも注目を集めることができた。また、内容においても、キュレーターの立場で近年のアートの動向を踏まえた作品の指導は、作家にとって学びの多い経験となった。	15名	無

4-(1)-⑬ 産官学連携

10	増田セバスチャン ディズニーワールド納品作品製作	2015.08-09	有限会社シックスパーセント	アメリカのディズニーワールドの日本庭園に設置するために依頼された増田セバスチャンの新作の彫刻作品の制作を請け負った。増田のプランをウルトラファクトリーによる技術提供によって実現させた。参加学生にとっては高い質を要求されながら手がけた作品が海外で脚光を浴び、よい実戦経験となった。	3名	無
11	MASK「Open Storage 2015」作品の設営	2015.10	おおさか創造千島財団	大阪、北加賀屋の工場・倉庫跡に大型の美術作品を収蔵しながら展示する「MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)」で開催した「Open Storage 2015 一見せる収蔵庫ー」にて展示したヤノベケンジ作品の設営を行った。	0名	無
12	graf 蜀台製作	2015.11	有限会社デコラティブモードナ ンバースリー	grafデザインの蜀台の製作をウルトラファクトリーで金属加工の技術を学ぶ「鉄工所クラブ」の学生がスタッフの指導の下製作、納品した。外部に納品できる精度を学ぶ機会となった。	1名	無
13	増田セバスチャン 原宿モンスターカフェ納品作品土台製作	2015.12	株式会社ダイヤモンドダイニン グ	「ULTRA×Kawaii Project」で制作した《New Generation Plant》を原宿のカワイイモンスターカフェに設置するための土台制作を請け負った。世界的なトラベルガイドTimeOutが選ぶ「日本発、世界に衝撃を与える100のこと」にも選ばれるカワイイモンスターカフェに、学生と増田セバスチャンの協働作《New Generation Plant》が展示されている。	0名	無
					96名	
					7	
					561名	6

4-(1)-⑬ 産官学連携

アート・コミュニケーション研究センター/プロダクトデザイン学科/情報デザイン学科/空間演出デザイン学科/キャラクターデザイン学科/アートプロデュース学科/こども芸術学科

アート・コミュニケーション研究センター受託関連

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	理念価値観／リーダーシップ研修in直島	2015.6.11-12	株式会社ベネッセホールディングス	ベネッセグループ各社から推薦された管理職を対象に、ベネッセアートサイト直島で3日間の研修を行った。研修初日には、同社最高顧問である福武総一郎氏による講演と車座セッションが行われ、その後、初日後半と研修2日目を本センターの福のり子、伊達隆洋、岡崎大輔が担当。『『みる』を通したコミュニケーション』をテーマとして、講義と複数のワークショップ、さらに、直島に展示されている作品を含む計4作の作品鑑賞を行った。	無	無
2	5年組合員研修	2015.6.13	小泉産業グループユニオン	小泉産業グループユニオン主催の「5年組合員研修」に、本センターの岡崎大輔が登壇した。業務に直接関わる知識の獲得よりも、参加者に内発的な気づきや知的な刺激を持ち帰っていただくことを目的とし、講義とワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	無	無
3	新入社員総仕上げ研修	2015.8.19-20	住友理工株式会社	住友理工株式会社の新入社員を対象に「新入社員総仕上げ研修」と銘打った2日間の研修を実施した。研修の目的は「これまでの経験を振り返り、自分の行動について考え、今後周囲の人と仕事をする術を知る」「常にPDCAサイクルを繰り返し、自律的に学び続ける習慣を身につける」とし、当日は伊達と岡崎が「みる・考える・話す・聴く」をテーマに、講義と複数のワークショップを行った。	無	無
4	鑑賞ワークショップ「みる・考える・話す・聴く」	2015.8.22	TURN展実行委員会	日本財団主催「TURN（ひとがはじめからもっている力）陸から海へ」の会期中、高知県の藁工ミュージアムで、本学アートプロデュース学科と本センターが協力して鑑賞ワークショップを開発・実施した。	ASP学科学生5名	無
5	鑑賞教育レクチャー	2015.9.10	玉川大学	玉川大学芸術学部教員に対して、対話型鑑賞の理論基盤、実践、成果に関するレクチャーおよび、ディスカッションを行った。	無	無
6	世界の哲学・芸術文化アカデミー	2015.9.27	埼玉県教育委員会	埼玉県では未来を担うリーダーを育成するべく、専門分野にとらわれず、豊かな教養に基づく人材育成事業を展開している。その内容は、古今東西の古典作品を中心とする哲学・芸術作品に対し、様々な方法でじっくりと向き合わせるとともに、それぞれの分野の第一人者との交流を通し、生徒の視野を広げさせ、人格の陶冶を図る。また、教員に対し新たな学びの方法を提示し、教育の充実を図るというもの。昨年に引き続き、ACOPが芸術文化のセミナーを担当。本センターの福、北野が埼玉県立近代美術館の作品を用いて対話型鑑賞を行った。	無	無
7	フレッシュマン研修	2015.10.31	小泉産業グループユニオン	小泉産業グループユニオン主催の「フレッシュマン研修」に、本センターの岡崎大輔が登壇した。入組から現在までの学びの振り返りと、内発的な気づきや知的な刺激を持ち帰っていただくことを目的とし、ワークショップを行った。	無	無
8	OpenStorage2015「鑑賞プログラム」	2015.10.31-11.23	一般財団法人おおさか創造千島財団	一般財団法人おおさか創造千島財団主催の展覧会「OpenStorage 2015」(10/31 - 11/23)において、本学アートプロデュース学科と本センターが協力し、対話型の作品鑑賞プログラムを開発・実施した。一連のプログラム開発は、学科・センター教員と学生との協同プロジェクトとして運営され、約半年近くのプロセスを経て実現に至った。	ASP学科学生4名	無
9	シニア認定者研修in直島	2015.12.17-18、 2016.1.21-22	株式会社ベネッセコーポレーション	株式会社ベネッセコーポレーションの新任シニア認定者を対象に、2日間の研修を実施した。当日は本センターの福のり子、伊達隆洋、岡崎大輔が登壇し、初日は「みる／ベネッセとアート」2日目は「きく・つなぐ」をコンセプトに、レクチャーとワークショップ、直島に展示されている作品の鑑賞を行った。	無	無

アート・コミュニケーション研究センター主催事業

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	免許状更新講習「コミュニケーション・スキルアップの3日間！」	2015.7.31-8.2	主催セミナー	2009年、2011年～2014年に引き続き、2015年度も、「コミュニケーション・スキルアップの3日間！」と題し、本学を会場に開催。講師としてセンターから、福、伊達、北野、岡崎の4名が参加。また京都大学からも大野照文教授（京都大学教授、同総合博物館館長）を招き、美術教育、理科教育、臨床心理学と、多様な視点から「コミュニケーション」をテーマにレクチャーやワークショップを実施。	ASP学科学生3名	無

4-(1)-⑬ 産官学連携

プロダクトデザイン学科企画

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	株式会社SHIMADA 捕虫器提案プロジェクト	2015.10-2016.02	株式会社SHIMADA	昨年度に引き続き、2年目のプロジェクトとした。昨年度の作品は1点が商品化決定済み。捕虫器をホームセンタールート以外で売るための商品アイデア提案を行い、合評で評価を頂いた。	10名	有
2	スタイリングチェアーデザイン開発	2015.09-2016.02	タカラベルモント株式会社	タカラベルモント(株)様の主力商品である美美容用椅子と周辺什器のデザイン開発を授業として実施した。推進に当たっては、タカラベルモント(株)からデザイン部門の責任者並びにデザイナーの指導、協力を得ながら行い、精度の高いアウトプットの具現化に結び付けた。また本学知財ルールに則り双方で覚書を締結し、商品化時の権利の明確化を踏まえて実施した。	14名	有
3	PDプロジェクト2	2016.04-07	株式会社 アクタス	アクタス社が取り扱っている商材のデザイン。	15名	有

情報デザイン学科企画

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	2015 京を包むプロジェクト	2016.02	京都織物卸商業組合	今回で3回目となる風呂敷振興会のイベントの企画、告知デザイン、会場でのプロジェクションマッピング制作と「包む」ワークショップの実施。	3名	無
2	駅ナカアートプロジェクト	2016.01-06	京都市交通局	「ディスカバー“地域”」をテーマに、地域の魅力を広く地下鉄利用者に情報発信することを目的とし、地下鉄駅構内におけるアート作品創作による演出を行った。本学は東西線東山駅を担当。	8名	無
3	よつぼしプロジェクト	2015.08-2016.01	種子繁殖型いちご研究会	三重・香川・千葉・九州沖縄農研の共同開発によるニュータイプのイチゴ、種子繁殖型品種「よつぼし」の販促用ロゴデザインを提案する。「よつぼし」は全国で販売予定。	4名	無
4	白山手取川ジオパークプロジェクト	2014.05-2015.07	白山手取川ジオパーク推進協議会	白山手取川ジオパークパンフレットの制作。	6名	無

空間演出デザイン学科企画

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	島のにぎわい創出	2015.04-2016.03	海士町観光協会	今回で3回目となる風呂敷振興会のイベントの企画、告知デザイン、会場でのプロジェクションマッピング制作と「包む」ワークショップの実施。	27名	無
2	デザイン視点からの島の魅力化	2014年～	海士町教育委員会	「ディスカバー“地域”」をテーマに、地域の魅力を広く地下鉄利用者に情報発信することを目的とし、地下鉄駅構内におけるアート作品創作による演出を行った。本学は東西線東山駅を担当。	約20名	有

キャラクターデザイン学科企画

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	EARRTH PROJECT	2015.04-2016.03	大阪市立大学・山口悦子(科学研究費研究)	医療事故をなくし、医師と看護師の間でのコミュニケーションを円滑にするための研修用映像としてアニメーションを制作。 2016年11月の医学学科にて発表し、以降日本全国での病院にて研修として使用される。	15名	有
2	有限会社 神風動画 アニメーションムービー制作	2015/10/15～11/08	有限会社 神風動画	卒業生より相談があり、某有名漫画家30周年記念アニメーションムービーの制作アルバイトを学科経由で行った。作業内容はロトスコープを用いた背景制作の補助。アルバイトを募集するにあたり、参加希望者を募りポートフォリオを提出し先方の選考基準を満たした学生が参加した。仕事としてのクオリティとスケジュールを意識した作業を通して、参加学生のスキルアップに繋がった。	5名	無
3	OMS Webサイト制作	2015/10/1～2016/3/31	株式会社 OOHメディア・ソリューション	OOHメディアソリューション様の企業Webサイトのリニューアルを行うにあたり、Webサイトのデザイン案や、コーディング、画像の制作、3DMAPの制作などを行った。またトップページに使用するオープニング映像をアニメーションで制作した。Webサイトのリニューアルに関わるすべての作業を大学のみで引き受けることは知識・技術面、そしてスケジュール面でも厳しいため株式会社ユニモト様の協力体制のもとに今回のプロジェクトを実施した。	13名	無

4-(1)-⑬ 産官学連携

アートプロデュース学科企画

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	美術館調査	2015.4-2016.3	調査対象者(美術館・アートセンター)	全国の美術館200館、アートセンター30館を調査対象とし、学生の素朴な疑問を出発点にアンケートを作成。集計・分析し、美術館・アートセンターの現状および問題点を明らかにする。完成した報告書は一般販売。15年度報告書売上げ＝160,309円	11名	有

こども芸術学科企画

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	福島西会津フィールドワーク	2015.04-09	森のはこ舟アートプロジェクト	森のはこ舟アートプロジェクトに村山が招待作家として参加し、その中で保育所のワークショップを学生に企画参加してもらった。また、地元のワークショップにもボランティアでサポートも学生が行い、地域の交流と西会津のフィールドワークも行った。交通費、宿泊費の予算は村山の活動予算とプロジェクトの方から加えて学生の負担は一切ない形で3泊4日で研究旅行を行った。	3名	無
2	アート縁日	2015.10-2016.03	一般社団法人非営利芸術活動団体コマンドN／TRANS ARTS TOKYO2015	東京の神田界限で行われたTRANS ARTS TOKYO2015に村山が参加作家として決まっていた中で、いろんなアーティストが参加出来る「アート縁日」と言う企画に、村山からこども芸術学科の学生も参加させたいと打診し、こ学で公募し4名を決定し、実際に神田で展示発表を行いました。	4名	無
3	秋田大館フィールドワーク	2015.10-2016.03	アートNPOゼロダテ	秋田大館にあるゼロダテアートセンターから、文化庁「平成27年度 文化芸術による子供の育成事業(芸術家の派遣事業)」からの受託を得て、村山の所に講師の打診があり、小学校と障害学校でワークショップを行いました。その中で、サポートスタッフとしてこども芸術学科のゼミの学生3名も同行し、現地のフィールドワークも兼ねて研究旅行を3泊4日で行いました。(学生一人1万円の謝金／交通費、宿泊費は学生負担無し)	3名	無

4-(1)-⑬ 産官学連携

日本庭園・歴史遺産研究センター企画

歴史遺産研究部門

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	国立民族学博物館「標本資料の保存管理手法の調査」	2015.5.25～ 2016.1.31	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立民族学博物館	国立民族学博物館所蔵の標本資料について、館から支給されるマニュアルに基づいて資料の材質・状態調査を行い、資料の破損・劣化箇所等を「点検情報基本カード」に記録し、保存科学研究の基礎データを作成する。	有り(9名)	無
2	芸術文化情報センター所蔵浮世絵資料 保全処置業務	2015.4.1～ 2016.3.31	京都造形芸術大学 芸術館	※学内業務 芸術館所蔵の浮世絵保全処置のための予備実験。資料に付着した粘性の物質の除去に先立ち、処置に適した薬品の選定および処置方法を確立する。	有り(5名)	無
3	久多の里山活性プロジェクト 調査	2015.4.13～ 2016.3.31	久多自治振興会	分散収蔵している京都市登録有形民俗文化財「久多の山村生活用具」の所蔵状況および破損状況の調査を実施し、記録する。	有り(6名)	無
4	久多の里山活性プロジェクト 普及	2015.4.13～ 2016.3.31	久多自治振興会	分散収蔵されている「久多の山村生活用具」の写真展を行なう。	有り(6名)	無
5	京都市指定文化財 「伏見の酒造用具」確認作業	2014.9.1～ 2016.3.31	月桂冠株式会社	月桂冠株式会社所蔵の京都市指定文化財「伏見の酒造用具」確認作業および管理表・管理タグの付設。	有り(7名)	無
6	真田山旧陸軍墓地の墓石に関する調査および強化処理	2015.4.1～ 2016.3.31	公益財団法人 真田山陸軍墓地維持会	真田山旧陸軍墓地における墓石の劣化状態調査結果に基づくC～Dランク墓石の強化処理の研究を行う。	無し	無
7	近江國甲賀郡水口村地引繪圖之六 展開処理業務委託①	2015.4.21～ 2015.8.21	甲賀市	甲賀市所蔵 「近江國甲賀郡水口村地引繪圖之六」固着した本紙の展開	有り(5名)	無
8	近江國甲賀郡水口村地引繪圖之六 展開処理業務委託②	2015.6.2～ 2015.11.30	甲賀市	甲賀市所蔵 「近江國甲賀郡水口村地引繪圖之六」固着した本紙の展開	有り(5名)	無
9	ガラス鏡の材質調査	2015.12	㈱文化財保存	ガラス鏡の材質調査(蛍光X線による計測)	有り(1名)	無
10	プロジェクトセンター 青焼図面3点と写真3点の保全処置	2015.10	京都造形芸術大学 プロジェクトセンター	※学内業務 青焼図面3点と写真3点の保全処置	有り(4名)	無
11	特定非営利活動法人 文化財保存支援機構 関西支部金銭出納、帳簿記載業務	2015.4.1～ 2016.3.31	特定非営利活動法人 文化財 保存支援機構	特定非営利活動法人 文化財保存支援機構の関西支部における金銭出納、帳簿記載事務。	無し	無
12	ガラス乾板の調査とスキャン作業	2015.8.17～ 2016.3.31	京都国立博物館	京都国立博物館所蔵のガラス乾板のうち、新に見つかった小サイズのガラス乾板(キャビネ)中心に状態調査を行い、劣化・破損箇所を記録、ガラス面のカビや埃の除去を行い、スキャナを用いてスキャニングレデジタルデータ化を行う。ただし、スキャニング作業に関しては、新たに見つかったキャビネサイズを中心とする。	有り(9名)	無

日本庭園研究部門

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与(人数)	単位認定
1	文化遺産の庭園を活用した庭園整備実践講座の開講(村岸邸)	2015.4.20～ 2016.1.31	庭師集団 いろは組	国の補助事業を受託したいろは組から、彦根市内の適正に管理されていない庭園で「庭園管理実践講座」を開講し、地域住民の参加による除草や剪定講習、庭園管理計画書の作成を体験してもらうことにより、その地域の歴史遺産を把握し、活用につなげる地域活性化活動の取組み作業を委託されたものである。	有(学部生2名、 卒業生3名)	無
2	地域住民との協働による文化遺産を活かしたまちづくり展開事業(まちなみ現況調査)	2015.4.20～ 2016.1.31	庭師集団 いろは組	彦根市鳥居本小野町では下水工事が計画されており、地域の様子が変わる可能性が高い。本業務は国の補助事業の一環で、いろは組より、築造往時の街道沿いの建物や庭園の記録保存を行い将来まちなみ復元の基礎資料とすることを目的に、主に庭園調査、文化拠点の支援作業を委託されたものである。	有(学部生3名、 卒業生3名)	無
3	平成27年度京都御苑桂宮邸跡庭園調査業務	2015.6.18～ 2016.3.25	分任支出負担行為担当官環境省自然環境局京都御苑管理事務所	京都府京都市に所在する京都御苑内に位置する旧桂宮邸庭園において、歴史資料調査並びに現地調査を実施した上で、文化財的価値の評価所見などを含めて調査報告書として作成することを委託されたものである。	有(院生1名)	無
4	H27玄宮楽々園植栽整備委託業務	2015.6.1～ 2016.3.25	彦根市	滋賀県彦根市に所在する名勝玄宮楽々園において、名勝庭園の重要な構成要素である植栽に特化し、特別管理木の松等を対象に剪定修復、眺望の回復並びに修景管理指導を委託されたものである。	有(卒業生2名)	無
5	柴田氏庭園 庭園修復調査監理業務	2015.5.13～ 2016.3.24	敦賀市	福井県敦賀市に所在する名勝柴田氏庭園の本来の姿、魅力を取り戻すため、基本設計を委託されたものである。整備の具体的な実施設計のために必要なデータを整理し、保全整備委員会開催時には検討資料を提示するものである。	有(卒業生3名)	無

4-(1)-㊸ 産官学連携

6	旧鹿児島紡績所技師館周辺整備計画策定監修等業務委託	2015.6.30～ 2016.3.25	鹿児島市	鹿児島県鹿児島市に所在する国の史跡に指定されている異人館を中心に周辺整備の計画事業の支援を委託されたものである(文献調査、価値評価、計画監修、集成館地区史跡等整備活用計画策定の支援、検討委員会運営の支援など)。	有(卒業生3名)	無
7	彦根城博物館内庭園修景整備委託業務	2015.5.19～ 2016.2.26	彦根市教育委員会	彦根城博物館内に位置する庭園の主に植栽に重点を置き、修景管理及び主要木の修復剪定作業を委託されたものである。また、彦根城常設作業員への技術向上のための指導協力も業務に含まれていることである。	有(卒業生3名)	無
8	H27名勝庭園管理アドバイザー委託業務	2015.6.1～ 2016.3.25	彦根市教育委員会	彦根城内の常設作業員が適切な維持管理作業を行うことが出来るように技術向上の指導を行う技術者の派遣を委託されたものである。名勝庭園植栽整備の専門的な作業を重点に置いた指導を行う。	有(卒業生3名)	無
9	平成27年度正善院保存整備事業における庭園設計監理業務	2015.4.6～ 2016.3.28	京都伝統建築技術協会・堂計画室 特定委託業務共同企業体	鳥取県三朝町に所在する国の史跡三徳山内の正善院庭園において、国の整備補助事業の一環で、保存整備基本計画に基づいた庭園工事の監理、指導業務を委託されたものである。工事の監修のほか、事業で設置されている検討委員会の運営事務局への指導、委員会への参加なども委託されている。	有(卒業生4名)	無
10	名勝会津松平氏庭園池護岸修復及び修復記録作成業務委託	2015.6.24～ 2016.3.25	会津若松市	福島県会津若松市に所在する名勝会津松平氏庭園御薬園において、修復整備事業の一環として、主に園池護岸の修理及び記録、工事完了箇所の航空写真測量(記録保存作業)などを委託されたものである。	有(卒業生5名)	無
11	等持院の庭の実測調査	2015.8.17～ 2016.3.31	京都市	京都府京都市に所在する等持院の庭園部の敷地詳細実測図面及び植栽種をすべて記録した植栽位置記録図面作成などの調査業務を委託されたものである。	有(学部生2名、 卒業生3名)	無
12	平成27年度村上家周辺整備設計指導委託	2015.7.22～ 2015.9.10	株式会社環境事業計画研究所	島根県隠岐島郡海士町に所在する村上氏家庭園の復元的整備工事の技術指導とその周辺の整備設計監修指導を委託されたものである。	有(卒業生2名)	無
13	平成27年度名勝玄宮楽々園内講習会	2015.9.19	(一社)滋賀県造園協会	滋賀県造園組合が計画する文化財庭園の修景管理に関する技術向上の為の講習会(名勝玄宮楽々園庭園内における修景管理)について、講習を委託されたものである。	有(卒業生2名)	無
14	平成27年度日本万国博覧会記念公園日本庭園植栽・景観創出業務	2015.8.1～ 2016.3.31	阪神造園建設業協同組合	大阪府吹田市に所在する万国博覧会記念公園の中に位置する万博日本庭園の景観監理及び剪定等の技術指導を委託されたものである。	有(卒業3名)	無
15	奈良公園整備計画案策定業務(高畑町周辺地区整備事業(主プロ)・奈良公園施設魅力向上事業)第809-委-1・繰520-委-5号	2015.10.23～ 2016.3.25	奈良公園事務所	奈良県奈良市に所在する旧裁判所跡地庭園において実施される発掘調査(埋蔵文化財調査)掘方、記録図化作業と、環境調査(植物調査、鳥類調査)、庭園構成要素の井戸揚水量調査、整備基本計画案策定作業を委託されたものである。	有(学部生1名、 卒業生6名)	無
16	H27玄宮園護岸保存整備工事工事監理委託業務	2015.12.3～ 2016.3.30	彦根市	滋賀県彦根市に所在する国指定名勝玄宮楽々園において着手されている国の補助事業である護岸修復工事の工事監修を委託されたものである。作業内容は主に、発掘調査の立会い、工法協議、工事請負業者の護岸修復作業における技術指導等である。	有(卒業生3名)	無
17	第3回石橋財団レクチャー実施に関する業務委託	2016.3.12	セインズベリー 日本藝術研究所	3月12日に実施の「第3回石橋財団レクチャー」の会場設備提供、懇親会会場等の手配、後援会準備、広報、配布物の印刷、会場案内・受付を委託されたものである。	有(学部生5名、 卒業生2名)	無
18	平成27年度彦根城内・金亀児童公園内松剪定委託業務	2016.1.25～ 2016.3.25	彦根市教育委員会	滋賀県彦根市に所在する国宝彦根城の城内に植栽されている松の修復剪定作業と、城下にひろがる金亀児童公園内の松の修復剪定作業を委託されたものである。	有(卒業生2名)	無
19	H27玄宮園護岸保存整備工事第4工区実施設計委託業務	2016.1.28～ 2016.3.28	彦根市	滋賀県彦根市に所在する国指定名勝玄宮楽々園において着手されている国の補助事業である護岸修復工事の修復設計業務を委託されたものである。作業内容は主に、発掘調査の立会い、工法協議、工事設計書の作成等である。	有(卒業生2名)	無